

Basketball information magazine delivered by on the court

HUSTLE BOARD

BASKETBALL COMMUNICATION PAPER

VOLUME
002

02

FOLLOW THE TOP BASKETBALL LEAGUE

トツプリーグを追う

DENSO IRIS
TOYOTA BOSHOKU SUNSHINE RABBITS
YAMANASHI QUEENBEES
HIMEJI EGRETS
KOBE STORKS



TAKE FREE

ご自由にお持ちください。

contents

- 03 女子日本代表、パリ五輪出場をめざす
- 04 冬の大勝負に挑む ～WC出場校～
- 06 HOOPREX 井戸端的NBA順位予想
- 08 「楽しく、厳しく、夢を持って」
霜村武彦インタビュー
- 10 二刀流対談
STEP BY STEP × TRIPLE DOUBLE
- 11 TOPIX Wリーグ・コート・インカレ
- 12 COLUMN プレゼント



FOLLOW THE TOP BASKETBALL LEAGUE

トップリークを追う

女子のトップリーク、第25回Wリーグは12月3日に前半戦を終え、首位に立ったのはトヨタ自動車 アンテロープス。それを追うのがデンソー アイリス、ENEOSサンフラワーズ、富士通 レッドウェーブの上位チームで、シャンソン化粧品 シャンソンVマジック、トヨタ紡織 サンシャインラビッツが続いている。

男子のB1は東・中・西の各地区とも上位2チームが頭一つリードしているがまだまだ先は長い。B2も東・西地区とも上位と下位の差が開いてはいるが、プレーオフ進出決定まではさまざまなドラマが繰り広げられそうだ。

DENSO IRIS
TOYOTA BOSHOKU SUNSHINE RABBITS
YAMANASHI QUEENBEES
HIMEJI EGRETS
KOBE STORKS



ドライブと3Pを軸に貴重な攻撃オプションを担う
#28北村悠貴(トヨタ紡織)



ペイントエリアで得点とリバウンドを量産する
#1アンモールブリーコール(山梨)

攻守での貢献に加えメンターとしての信頼も厚い
#0馬瓜エブリン(デンソー)



優勝争いは 後半戦が勝負(Wリーグ)

今季の成績により、来季から上位8チームと、下位6チームの2ディビジョン制に移行するWリーグ。優勝争いはもとより、下位チームによるプレーオフ進出争い(上位8チーム入り)もし烈を極めそう。

優勝争いに絡む上位チーム直接対決の多くは後半戦に集中するため、勝負はこれから。そんな中、デンソーと富士

通はすでに対戦を済ませて(11月11日、12日@横浜)1勝1敗。前半戦をふり返ってチーム状況を聞くと、「まだわからない。後半戦で強いチームと戦った時に真価が問われると思う」(富士通、B.T・テブスHC)。「選手たちはよく戦っている。レギュラーシーズンは昨年同様の成績をめざしたい」(V・ヴクサノヴィッチHC)というコメント。やはり後半の対戦カードが順位を左右すると見えているようだ。この2チームにトヨタ自動車、ENEOSを加えた4チームの争いが、現在のところ優勝争いの中心になる。

その上位4チームに割って入ろうとしているのがシャンソン化粧品とトヨタ紡織。両チームともENEOS、デンソーとの対戦を終えており、シャンソン化粧品は2勝2敗。トヨタ紡織は0勝4敗。この差がどう響くのか、直接対決は見もの。これに続くと思われるが日立ハイテククーガーズ、アイシンウィングス、三菱電機コアラーズ。至上命令のプレーオフ進出に向けて巻き返しを図る。

下位のチームは1つでも順位を上げようと虎視眈々。東京羽田ヴィッキーズがシャンソン化粧品に勝ち、姫路イーグレッツがトヨタ紡織に大逆転勝利を収めたように「アップセット(番狂わせ)」を狙っている。上位チームに食らいつぎながら、いかに勝ち星を増やしていくか。プレーオフ進出への挑戦は混戦必至、まだまだ熱い戦いが続いている。

Wリーグ2023-24暫定順位

順位		勝	負	得失点差
1	トヨタ自動車アンテロープス	14	0	380
2	デンソー アイリス	12	2	317
3	ENEOSサンフラワーズ	12	2	219
4	富士通レッドウェーブ	12	2	193
5	シャンソン化粧品シャンソンVマジック	11	3	238
6	トヨタ紡織サンシャインラビッツ	9	5	101
7	日立ハイテク クーガーズ	7	7	-21
8	アイシンウィングス	6	8	-17
9	三菱電機コアラーズ	4	10	-111
10	東京羽田ヴィッキーズ	3	11	-116
11	プレステージ・インターナショナルアランマーレ	3	11	-202
12	山梨クィーンビーズ	3	11	-205
13	姫路イーグレッツ	1	13	-342
14	新潟アルビレックスBBラビッツ	1	13	-434

※12月3日現在

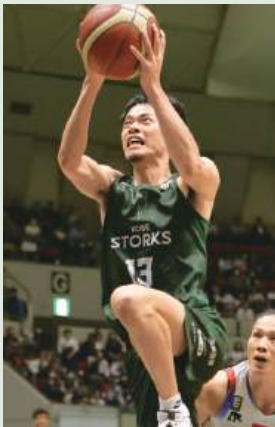


今季初勝利をつかみ取ったゲームでも
チームを牽引した#29石牧葵(姫路)

新B1(Bプレミア) 入りに向けて

既報の通り、Bリーグは2026-27シーズンより新たなステージへ移行する。現在のB1はBプレミアに、B2はBリーグワン(B3はBリーグネクスト)となる。参加クラブ数がどうなるのか、まだ正式な発表はないが、今季B2で戦っている神戸ストークスにとっては来季に向けてB1入りを決めておきたいところ。審査基準のひとつであるアリーナについては『神戸アリーナ』の建設によりクリアは可能で、なおのこと「強いストークス」を見せてもらいたい。

西地区の神戸はプレーオフ進出圏内を行ったり来たり……得点力不足は否めないが、僅差の試合を勝ち切る試合巧者ぶりを発揮して踏みとどまっている。外国籍選手が攻撃の要となるが、ベテランの#13道原紀晃キャプテンを中心に、インサイドは202cm、110kgのPF#1中西良太がよく頑張る、若手のSG#12川島聖那やPG#7綱井勇介らがハッスルする。上位定着のためには、日本人選手がいかにシュート回数を増やし、精度を上げられるかがカギになりそう。上位争いはまだまだこれから。シーズン後半に向け、チームのコンディショニングを上げていかなければならない。いかにヘルシーな状態を保ち、さらに調子を上げていくか。シーズン後半の戦いぶりをホームアリーナで見届けよう。



故障者続出の神戸ストークスを
主将としても力強く引っ張る#13
道原紀晃

B1 東地区

順位		勝	負
1	東京	16	3
2	宇都宮	15	4
3	千葉J	11	8
4	仙台	8	11
5	群馬	8	11
6	秋田	8	11
7	北海道	3	16
8	茨城	1	18

B1 中地区

順位		勝	負
1	三遠	16	3
2	川崎	14	5
3	三河	11	8
4	FE名古屋	11	8
5	渋谷	8	11
6	横浜	7	12
7	信州	4	15
8	富山	1	18

B1 西地区

順位		勝	負
1	琉球	15	4
2	名古屋D	14	5
3	長崎	12	7
4	島根	11	8
5	広島	10	9
6	佐賀	10	9
7	大阪	9	10
8	京都	5	14

※12月10日現在

B2 東地区

順位		勝	負
1	A千葉	19	2
2	越谷	14	7
3	青森	13	8
4	山形	8	13
5	福島	7	14
6	岩手	5	16
7	新潟	1	20

B2 西地区

順位		勝	負
1	福岡	16	5
2	滋賀	15	6
3	熊本	14	7
4	神戸	12	9
5	静岡	11	10
6	奈良	7	14
7	愛媛	5	16

女子日本代表、パリ五輪出場をめざす

バスケットボール女子日本代表チームは、来年(2024年)2月に行われる「OQT」で、同年夏に開催されるパリ五輪の出場権獲得をめざしている——そもそも「OQT」とは「Olympic Qualifying Tournaments」の略で、オリンピックの出場権獲得のために行われる勝ち抜き戦のこと。今回は『FIBA Women's Olympic Qualifying Tournaments 2024』が正式名称となり、中国、ベルギー、ブラジル、ハンガリーの4カ国で開催。計16カ国が出場し、それぞれの開催国を4カ国1グループとして4つのグループに分かれてパリへの切符を争う。



すべてにおいてハイレベルな活躍を期す赤穂ひまわり

「大変な組に入ったな、という印象。勝って決めなきゃいけないし、男子に続いて」というプレッシャーもあります。ただバスケット以外で、例えば外出して気分転換するとかなりフレッシュするのが上手になってきたという自信はあるので

進歩を遂げた恩塚ジャパンの集大成

出場16カ国の内訳はアジア「4」、アメリカ大陸「4」、ヨーロッパ「6」、アフリカ「2」。各グループ4カ国総当たりのリーグ戦を勝ち抜いた上位3カ国がパリへの切符をつかむ。ただし、アメリカ合衆国(FIBA女子ワールドカップ2022優勝)と、開催国のフランスは出場を確定させており、両国が出場するグループは上位2位までに出場権が与えられる。

さて、3大会連続の五輪出場をめざす日本だが、どんなメンバー構成になるのだろうか。恩塚亨女子日本代表ヘッドコーチの脳裏には、ある程度絞り込まれた顔ぶれが浮かんでいるだろう。前述のアジアカップや、10月に中国で行われた『第19回アジア競技大会(2022/杭州)』に出場したメンバーが主力となるのは間違いなさそうだ。代表キャプテンを務めた林咲希(富士通レッドウェーブ



絶対的な信頼感でチームを再び大舞台へ導く高田真希

通レッドウェーブ#7)や高田真希(デンソーアイリス#8)、本橋菜子(東京羽田ヴィッキーズ#12)、宮崎早織(ENEOSサンフワーズ#32)、赤穂ひまわり(デンソー#88)らベテラン・中堅組は安定感がある。そこに山本麻衣(トヨタ自動車アンテロープス#23)や東藤なな子(トヨタ紡織サンシャインラビッツ#8)、平下愛佳(トヨタ自動車#14)、数末奈海(デンソー#18)ら若手選手が絡み、センターポジションには梅沢カディシャ樹奈(トヨタ自動車#24)、伸び盛りの朝比奈あずさ(筑波大学2年)らの名前が挙がりそうだ。

他にも実績のある海外組、馬瓜ステファニー(スペイン)、モビスター・エストゥディアンドス(オコエ桃仁花(オーストラリア)、UCキャピタルズ)、さらに今季Wリーグ復帰を果たした馬瓜エブリン(デンソー#0)の活躍もあり、恩塚HCはギリギリまで、選手のコンディショニングや組み合わせのバリエーション等を考慮しつつ選考を進めることになるだろう。

「パリ五輪の出場権獲得は明確な目標です。選手はそれぞれ頭の中に課題や想定を入れながらリーグ戦を戦っているはず。まずは出場権を勝ち取るために全力を注ぎたい。個人的にもコンディショニングは順調に上がっていると思います」(デンソー・高田真希)

「パリに行くためにはすべてが負けられない試合になる、そんな気持ちで戦いたい。一本一本のシュート、細かいところのミスが勝負に関わるので、集中力をキープして臨みたいと思います」(トヨタ紡織・東藤なな子)

多くの選手がシーズン真っただ中のWリーグで切磋琢磨しており、まだ他にも有望選手がいる。海外で活躍している選手もおり、まだ見ぬスター候補がいるかもしれない。

OQTは「二戦必勝」。ファンである我々は惜しみない応援で女子日本代表をサポートするのみ。パリでの活躍を夢見ながら……いや夢を見るのはOQTの後でいい。今は目の前の選手たち、Wリーグで活躍する選手たちにエールを送りたい。

開催国ハンガリーも要注意

対戦相手の情報は、大会間近まで明らかにならないかもしれないが、東京五輪に出場した選手やWNBAに所属する選手たちは気になるだろう。

世界ランキング4位のスペインには、Alba Tórrrens(Euro League Finals MVP & FIBA Europe Player of the year: 2011, 2014)をはじめ、Maite CazorlaやAstou NdourというWNBA経験者は要注意。同5位のカナダはアメリカ大陸予選を1位で突破した強豪で、ガードのBridget Carleton、Kia Nurse、フォワードのNatalie AchonwaがWNBA所属。いずれも東京五輪に出場している。

OQT開催国のハンガリーは世界ランキング19位だが、決して侮れない。先の『FIBA女子ユーロカップ2023』ではセミアイナルでスペインに敗れた(60-69)もののベスト4進出。ガードのAgnes Studerがゲームをコントロールし、センターのVirag Kiss(194cm)が得点源として活躍した。他にも208cmと長身のBernadett Hatarがベンチに控えている。



世界基準の守備と切れ味鋭い攻撃で支える東藤なな子



繰り返しになるが「二戦必勝」。恩塚ジャパンがこのグループを勝ち上がり、男子日本代表に続き、パリ行きの切符を獲得と信じるのみだ。

第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会(SoftBank ウインターカップ2023)が12月23日に開幕。
全国の男女各60チームが参加し、女子決勝は28日、男子決勝は29日、東京体育館メインコートで高校バスケの頂点を決める。

5年連続5回目 FUKUOKA 東海大福岡  感謝こそ原点 GIRLS	2年ぶり3回目 SHIMANE 松徳学院  Challenge GIRLS	3年連続3回目 KYOTO 京都両洋学園  Power of Unity GIRLS	7年ぶり12回目 AICHI 星城  妥協するな GIRLS	初出場 HOKKAIDO 日本航空北海道  Nothing beats hardwork GIRLS
15年連続40回目 MIYAZAKI 県立小林  TEAM WORK GIRLS	2年連続16回目 YAMAGUCHI 慶進  Go for it ! GIRLS	6年連続36回目 OSAKA 大阪薫英女学院  FIGHTER GIRLS	3年連続3回目 MIE 四日市メリノール学院  Now or Never GIRLS	5年連続5回目 YAMAGATA 山形中央  WORKHARD & HAVEFUN GIRLS
初出場 OKINAWA 県立石川  虎視眈々 GIRLS	3年連続15回目 KOCHI 県立岡豊  絶対絶対あきらめない!! GIRLS	18年連続27回目 WAKAYAMA 和歌山信愛  Quick monkeys GIRLS	8年連続13回目 KYOTO 京都精華学園  守・破・離 GIRLS	2年連続8回目 SAITAMA 埼玉栄  気配り・目配り・心配り GIRLS

初出場
府立鳥羽



激戦区で戦ってきたプライドを胸に、臆することなく全国へ挑む選手たち

全国屈指の激戦地、京都。その中でも随一の伝統を誇る洛南と対戦した決勝リーグ、ゲームの入りから気迫で上回った。攻撃の核となったのは高い運動能力を誇る#36奥村将吾。切れ味鋭いドライブ、ジャンパーで27得点と気を吐き、185cmの大型PG#21鬼塚彩叶、195cmのC#23河内バー瀬那の2年生コンビも続いた。控えの#27笠原桂斗は激しい守備で貢献し、1年生の#43上田雄介もポテンシャルの高さをうかがわせた。ゲームは残り2分で3点差まで詰め寄せられたがハーフコートで手堅く守り、試合巧者ぶりも見せた。四半世紀ぶりの全国だが#0能勢陽主将は「やるべきことは変わらない」と平常心で「ALL KYOTO」の意地を見せる。

KYOTO BOYS

不易流行




福嶋一夫監督は「雰囲気にもまれないよう準備して臨む」



ハードワークをコツコツ積み上げた粘り強さで勝負したい鳥羽

3年連続6回目
AOMORI
八戸学院光星



全力・役割・責任 BOYS

3年ぶり7回目
ISHIKAWA
北陸学院



Challenge & Hardwork BOYS

冬の大勝負に挑む!!

2年連続2回目

MIE

四日市
メリノール学院



FROM NOW ON

BOYS

8年連続16回目

KUMAMOTO

九州学院



高校生らしく

BOYS

4年ぶり11回目

KAGOSHIMA

県立川内



地に足つけて

BOYS

6年ぶり24回目

育英

「夏」全国8強のライバル報徳を破って
6年ぶりの「冬」で躍進を期す兵庫『IKUEI』

HYOGO

BOYS



力のある下級生を3年生が押し上げ、ともに成長してきたチームワークが武器



育英の伝統でもあるトランジションで躍進を期す



「一戦全力で挑む」と話す
沼波 望監督

インターハイでベスト8まで勝ち上がった強敵との兵庫県予選決勝でも、一切ひるむことのなかった育英。#18羽澤要#22馬場瑠音2年生インサイドコンビが果敢に体を張り、同じく2年の#11藤村日向、#39竹内琉人がアウトサイドで牽引する若いチームだが、その飛躍を支えたのは3年生だ。後半だけで5本の3ポイントを沈めた#3竹本龍二、この1年で急成長を遂げた#17三井太雅らが屋台骨となり伝統を紡いだ。「苦しい時も仲の良さで乗り越えてきた」と自負するのは#57山川英哲主将。6年間、県内で苦杯を喫し続けたOBやその保護者たちの無念も力に変え、「IKUEI PRIDE」を全国の猛者たちに見せつける。

瞬・走・跳



女子組合せ

2023年12月13日(水)~28日(木)

京都精華大学高等学校	(京都①) 1	31 札幌山の手高等学校	(北海道①)
浜松開誠館高等学校	(静岡②) 2	32 仙台大付属明成高等学校	(宮城②)
慶進高等学校	(山口③) 3	33 日本航空高等学校石川	(石川②)
作新学院高等学校	(栃木④) 4	34 県立足羽高等学校	(福井③)
開志国際高等学校	(新潟⑤) 5	35 埼玉栄高等学校	(埼玉⑤)
日本航空高等学校北海道	(北海道⑥) 6	36 一関学院高等学校	(岩手⑥)
県立下妻第一高等学校	(茨城⑦) 7	37 和歌山信愛高等学校	(和歌山⑦)
明豊高等学校	(大分⑧) 8	38 大阪桐蔭高等学校	(大阪⑧)
船橋市立船橋高等学校	(千葉⑨) 9	39 松蔭学院高等学校	(鳥取⑨)
県立小林高等学校	(宮崎⑩) 10	40 倉敷翠松高等学校	(岡山⑩)
県立広島皆実高等学校	(広島⑪) 11	41 土浦日本大学高等学校	(茨城⑪)
星城高等学校	(愛知⑫) 12	42 明星学園高等学校	(東京⑫)
英明高等学校	(香川⑬) 13	43 県立秋田中央高等学校	(秋田⑬)
前橋市立前橋高等学校	(群馬⑭) 14	44 精華女子高等学校	(福岡⑭)
聖和学園高等学校	(宮城⑮) 15	45 千葉経済大学附属高等学校	(千葉⑮)
東海大学付属福岡高等学校	(福岡⑯) 16	46 県立福岡高等学校	(徳島⑯)
四日市メリノール学院高等学校	(三重⑰) 17	47 岐阜女子高等学校	(岐阜⑰)
柴田学園大学附属柴田学園高等学校	(青森⑱) 18	48 済美高等学校	(愛媛⑱)
龍谷富山高等学校	(富山⑲) 19	49 県立石川高等学校	(沖縄⑲)
鶴沼高等学校	(神奈川⑳) 20	50 佐賀清和高等学校	(佐賀⑲)
聖力タリナ学園高等学校	(愛媛㉑) 21	51 滋賀短期大学附属高等学校	(滋賀⑲)
県立岡豊高等学校	(高知㉒) 22	52 慶誠高等学校	(熊本⑲)
東京成徳大学高等学校	(東京㉓) 23	53 日本航空高等学校	(山口⑲)
福島東陵高等学校	(福島㉔) 24	54 京都海洋高等学校	(京都⑲)
鹿角高等学校	(鹿角㉕) 25	55 清水ク丘高等学校	(広島⑲)
奈良文化高等学校	(奈良㉖) 26	56 三田松聖高等学校	(兵庫⑲)
東海大学付属諏訪高等学校	(長野㉗) 27	57 県立山形中央高等学校	(山形⑲)
安城学園高等学校	(愛知㉘) 28	58 島原中央高等学校	(長門⑲)
鶴学園高等学校	(石川㉙) 29	59 鳥取城北高等学校	(鳥取⑲)
大阪薫英女学院高等学校	(大阪㉚) 30	60 桜花学園高等学校	(愛知㉚)

男子組合せ

2023年12月13日(水)~29日(金)

日本航空高等学校	(山梨①) 1	31 開志国際高等学校	(新潟①)
高岡第一高等学校	(富山②) 2	32 四日市メリノール学院高等学校	(三重②)
県立一関工業高等学校	(岩手③) 3	33 県立青洲高等学校	(山梨③)
県立広島皆実高等学校	(広島④) 4	34 羽黒高等学校	(山形④)
駒澤大学附属苫小牧高等学校	(北海道⑤) 5	35 県立佐賀北高等学校	(佐賀⑤)
新田高等学校	(愛媛⑥) 6	36 明徳義塾高等学校	(高知⑥)
出雲北陵高等学校	(鳥取⑦) 7	37 東海大学付属札幌高等学校	(北海道⑦)
土浦日本大学高等学校	(茨城⑧) 8	38 八王子学園八王子高等学校	(東京⑧)
県立能代科学技術高等学校	(秋田⑨) 9	39 北陸高等学校	(福井⑨)
鳥取城北高等学校	(鳥取⑩) 10	40 光泉力トリック高等学校	(滋賀⑩)
習志野市立習志野高等学校	(千葉⑪) 11	41 県立宇都宮工業高等学校	(栃木⑪)
和歌山南陵高等学校	(和歌山⑫) 12	42 県立松山工業高等学校	(香川⑫)
成立学園高等学校	(東京⑬) 13	43 埼玉栄高等学校	(埼玉⑫)
尽誠学園高等学校	(香川⑭) 14	44 府立鳥羽高等学校	(京都⑫)
育英高等学校	(兵庫⑮) 15	45 藤枝明誠高等学校	(静岡⑫)
九州学院高等学校	(熊本⑯) 16	46 仙台大付属明成高等学校	(宮城⑫)
別府清部学園高等学校	(大分⑰) 17	47 福岡第一高等学校	(福岡⑫)
奈良育英高等学校	(奈良⑱) 18	48 北陸学院高等学校	(石川⑫)
延岡学園高等学校	(宮崎⑲) 19	49 関西大学北陽高等学校	(大阪⑫)
美濃加茂高等学校	(岐阜⑲) 20	50 東海大学付属諏訪高等学校	(長野⑫)
浜松学院高等学校	(静岡㉑) 21	51 自然学園高等学校	(山梨⑫)
正智深谷高等学校	(埼玉㉒) 22	52 県立城東高等学校	(徳島⑫)
京都精華大学高等学校	(京都㉓) 23	53 桐光学園高等学校	(神奈川⑫)
帝京長岡高等学校	(新潟㉔) 24	54 帝京安積高等学校	(福島⑫)
八戸学院光星高等学校	(青森㉕) 25	55 豊浦高等学校	(長門⑫)
県立川内高等学校	(鹿児島㉖) 26	56 岡山商科大学附属高等学校	(岡山⑫)
県立宇都宮工業高等学校	(山口㉗) 27	57 桐生第一高等学校	(群馬⑫)
福島東陵高等学校	(福島㉘) 28	58 県立豊浦高等学校	(山口㉘)
福岡大学附属大濠高等学校	(福岡㉙) 29	59 松丘高等学校	(愛知㉙)
		60 東山高等学校	(京都㉚)

For the real game

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」
私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに
ボールとスポーツエキップメント・メーカーとして
常に完璧な製品づくりを目指しています。

molten®
For the real game

www.molten.co.jp

HOOPREX®

BASKETBALL GOODS

Hard work beats talent when talent fails to work hard.

最強を纏う 地球史上最強のハンター T-REX

この地球に降り立った史上最強の超大型肉食恐竜、その名は「Tyrannosaurus rex」。無敵と名高きDNAが、6550万年の時を経て現代Basketball sceneに現れた。自らが最強であることを証明するため、暴君は再び無慈悲な雄たけびを上げる。

バスケットボールにかかわるすべての人たちのために、数多のプロダクトを世に送り出してきたON THE COURTが、11種の新素材を投入してシンプルに、力強さと美しさを追求し生み出したニューブランド「HOOPREX(フープレックス)」。用途や状況に合わせた豊富なラインアップで、激しく競うオンザコートはもちろん、アフタープラクティス、コーチングウェアでも抜群の着心地と機能性を成立させる。

圧倒的に勝つ覚悟が、
ここにある

力の限りを出し尽くせ、才能が自惚れに打ち倒されぬよう

あ ちこちに小ネタを挟みながら話題は注目のルーキー、ヴィクター・ウェンバンヤマにも及びつつ、デンバーの強さは全員が認めて、即決で1位予想。移籍やケガの影響など話の流れの中で評価が上がったのはミネソタ。若さと勢いのあるOKCにも期待が寄せられました。ヒューストンも低評価ですが「もしかするとある」との声も。また、西には八村塁(LAL)、渡邊雄太(PHX)がいますが、2人を特別扱いしないところも「井戸端」らしさ満開です。

続いて東(イースタンカンファレンス)の予想結果です。

**EASTERN
CONFERENCE**

- ①ミルウォーキー・バックス(MIL)
- ②ボストン・セルティックス(BOS)
- ③クリーブランド・キャバリアーズ(CLE)
- ④ニューヨーク・ニックス(NYK)
- ⑤マイアミ・ヒート(MIA)
- ⑥フィラデルフィア・セブンティシクサーズ(PHI)
- ⑦オーランド・マジック(ORL)
- ⑧インディアナ・ペイサーズ(IND)
- ⑨アトランタ・ホークス(ATL)
- ⑩トロント・ラプターズ(TOR)
- ⑪ブルックリン・ネッツ(BKN)
- ⑫シカゴ・ブルズ(CHI)
- ⑬デトロイト・ピストンズ(DET)
- ⑭ワシントン・ウィザーズ(WAS)
- ⑮シャーロット・ホーネッツ(CHA)

東 の「井戸端的」注目は、7位と予想したオーランド! フランツ・バグナーやパオロ・バンケロら実力派若手選手がそろいますが、話題はマーケル・フルツ(2017年ドラフト全体1位指名。シューティングスランプとケガを乗り越え復活)にプチ集中。イップスを乗り越えての活躍は確かに胸熱ですね。逆に、一般的にはスーパースターなのに出演者的には低評価

というケースもありますが、ここには書きませんのでぜひご視聴を(苦笑)

今年もNBAは、インシーズントーナメントを導入するなど話題満載。井戸端的順位予想も覚えてもらって、シーズンの終わりには答え合わせを楽しんでくださーい!



唯一無二! NBA井戸端会議
オリジナル商品のお求めは
ポジライジショップで▶▶▶





<掲載商品>

●6ページ

Long sleeve T-shirt [HRXLT-023] グリーン ¥5,280(税込)

●7ページ

T-shirt [HRXS-001] ホワイト ¥4,180(税込)

[HRXS-008] ニューヨークブルー ¥4,180(税込)

Long sleeve T-shirt [HRXLT-021] ブラック ¥5,280(税込)

[HRXLT-018] レッド ¥5,280(税込)

T-shirt [HRXS-003] ネイビー ¥4,180(税込)

Socks [HRXF-001] ホワイト/レッド ¥1,650(税込)

[HRXF-003] ブラック ¥1,650(税込)

[HRXF-002] ホワイト/ロイヤル ¥1,760(税込)

Sports towel [HRXTW-006] ネイビー ¥1,430(税込)

[HRXTW-008] ホワイト ¥1,430(税込)

Hand towel [HRXTW-004] ネイビー ¥880(税込)

[HRXTW-003] ホワイト ¥880(税込)

Shoes bag [HRXSB-001] ブラック/ホワイト、グレー ¥4,180(税込)

[HRXSB-001] テキサス/ブラック ¥4,180(税込)

Wrist band [HRXF-004] ¥990(税込)

ホワイト/ネイビー、ホワイト/グリーン、ホワイト/ワイン
ホワイト/レッド、ホワイト/ブラック、ホワイト/ロイヤル

Tote bag [HRXSB-004] ¥6,380(税込)

Sacoche [HRXSB-003] ¥3,080(税込)

テキサス/ブラック、ブラック/グレー、
グレー/ブラック、ネイビー/ブラック

※商品に関するお問合せは <http://www.onthecourt.jp>まで



NBA井戸端会議【2023-24開幕前夜】 ライブ配信から

井戸端的順位予想!!

事前準備は一切無し!「ノープラン」でひたすらNBA愛を楽しく愉快地、時に深掘りし過ぎて語り続けるYouTubeチャンネル『NBA井戸端会議』。誰よりも世界最高峰リーグに詳しく、愛情あふれるあの人たちが配信する脱力系人気コンテンツが、今シーズンも10月、開幕前夜に「ゆる〜く」開幕しました!ライブ配信での順位予想をまとめて記録しておきま〜す。

WESTERN CONFERENCE

出

演者はサンキュータツオ(米粒写経※大学教員でもあります)、岩崎太整(NBA観戦プロ※映画音楽も手掛ける音楽家)、上鈴木タカヒロ、伯周兄弟(P.O.P※ラップグループ「ピーオーピー」のツインズです)、大西玲央(ライター、翻訳者※今年からNBA解説でもおなじみ)の各氏。

まず西(ウェスタンカンファレンス)の予想結果は次のように決まりました。

- ①デンバー・ナゲッツ(DEN)
- ②フェニックス・サンズ(PHX)
- ③サクラメント・キングス(SAC)
- ④ミネソタ・ティンバーウルブズ(MIN)
- ⑤ロサンゼルス・レイカーズ(LAL)
- ⑥ゴールデンステイト・ウォリアーズ(GSW)
- ⑦オクラホマシティ・サンダー(OKC)
- ⑧ロサンゼルス・クリッパーズ(LAC)
- ⑨メンフィス・グリズリーズ(MEM)
- ⑩ダラス・マーベリックス(DAL)
- ⑪ニューオーリンズ・ペリカンズ(NOP)
- ⑫サンアントニオ・スパース(SAS)
- ⑬ユタ・ジャズ(UTA)
- ⑭ヒューストン・ロケッツ(HOU)
- ⑮ポートランド・トレイルブレイザーズ(POR)

霜村武彦、甲子園学院と歩んだ指導者の道

皆人公平＝文
text by Kohai Mitsuato

「僕は野球少年だった」

昭和14（1939）年、鳥取県鳥取市生まれの霜村武彦。第二次世界大戦終戦後、少年期を迎える。その頃になると中断されていたプロ野球が復活し、人気の高い学生野球、社会人野球も再開された。

「中学生になったら野球をやろうと思っていた。グローブも買ってもらったんだけど、担任の先生（英語教諭）がバスケット部の顧問で、それでバスケットをやるようになった。勉強はできないし、英語はできない。担任の先生についていたら勉強ができると思ったから、だったらバスケットがいいかなって（笑）」

やってみると面白かった。すぐにバスケットボールに魅了されたという。担任の先生が好きで、勉強にも意欲が湧いた。名門・県立鳥取西高校進学後も迷わずバスケットを続けた。

「バスケットはもう恋人ですね、人生そのもの。鳥取西高は鬼塚喜八郎さん（鬼塚商会創業者、株式会社アシックス会長）の母校です。けど、私がお世話になったのは北浦洋治さん（元アシックス）で、入学した時の3年生で良い指導を受けました」

「体育の先生になりたかった」

高校卒業に際しては、体育の先生になりたくて、東京教育大学（現筑波大学）をめざしたものの叶わず、地元の鳥取大学に進学した。

「体育ができなかった。器械体操や跳び箱とか……一番ショックだったのが鉄棒、逆上がりができない。それで、鳥取大学の農学部に進学しました。ただ、バスケット部には東京教育大出身の直江勇先生がいらしたので教育大系のバスケットを学ぶことができました。4回生の時は主将で、中国五県国立大学大会で優勝しました」

卒業後は教職に就かず、バスケットボールチームを創るという大阪の黒田電気株式会社に就職した。そこには関西大学バスケの強豪、立命館大学や関西学院大学、大阪商業大学からリクルートされた選手が集まっていた。

「車一台やるからって誘われて（笑）。プレーヤーとしては5年間かな、最後のほうはコーチみたいこともやっていた。その後、東京へ転勤になりましたが、理科の教員免許を持っていたので、また『先生になりたい』って考えるようになって」

そうしたら、社員の中に甲子園学院と関わりのある方がいて、『理科の教員を探しているみたいだから、採用試験を受けてみませんか?』と打診され

たんです。黒田電気のバスケット部に今井孝男さん（名誉国際審判員、元日本協会規則審判部部長）がいらっしゃったので『先生になりたいんです。』と相談すると、『そのほうがいいだろう』となり、円満退社しました」

体育館なし、練習はグラウンドで

昭和42（1967）年1月、晴れて教員生活がスタート! もちろんバスケット部の監督・顧問も引き受けるつもりでいた。当時の甲子園学院は、日本一に輝いたこともあるバレーボール部が有名だった。さて、バスケット部はというと……はやる気持ちを抑えながら練習に向かった。

「バスケット部はほったらかしで、赴任当初はグラウ

「独占ロングインタビュー」

楽しく、厳しく、夢を持って

女子バスケットボール界に偉大な足跡を残した指導者、霜村武彦（元甲子園学院バスケットボール部監督）。「楽しく、厳しく、夢を持って」を部訓として、甲子園学院を強豪校に育て上げた。兵庫県代表として「30年連続30回インターハイ出場」を果たし、数多く女子日本代表選手も輩出した。「バスケットが好き、教えるのが好き、バスケットをする人が好き」と現在の心境を語る霜村の、足跡の一部を紹介したい。なお、公益財団法人日本バスケットボール協会（JBA）2023年度功労表彰受賞者の一人に選ばれた。

※文中の敬称は略させていただきます。

「5年で県大会優勝します!」

教師の役目は授業以外にも県下一ともいわれた風紀・しつけ指導にも及び、想像以上の苦労があったようだ。バスケット部顧問としてはやる気に満ちていた。自分と一緒にバスケットをする選手たちには、とにかく「バスケットが好き」になってほしいと考えていた。バレーボール部がそうだったように、いずれは日本一に、という気持ちが膨らんだ。

「5年で県大会優勝を果たせなければ辞めません」って、学校長に啖呵を切っていた。優勝します。って。実際には6年目かな……学校というのは勝手に選手が来ると思っていた。ところが、バレーボールはいいけどバスケットはそうじゃない。

当時のライバルといえば同じ西宮市にある夙川学院。そこには集まるのに、自分には仕組みがまったく分からなかった。少しづつ強くなって4年目ぐらいかな、『こうしたらいいんだ』ってわかって、最初にスカウトに行っただのが石垣洋子。彼女が通う魚崎中学校に行ったら、けんもほろろ、甲子園学院なんて知りませんと門前払い同然。だけど諦めず、家に年賀状を送ったんです。毛筆で「甲子園学院のバスケットの星になってください」って書いて。

そうしたら、その年賀状が切手シートか何かに当選した。ご両親が改めてそれを見られて、毛筆書きだったもんだから、どういう人物なのか会いたいとなり面談することができました」

30年連続30回
インターハイ出場の始まり

昭和48（1973）年、石垣選手がキャプテンを務めた代は、県新人戦初優勝、県選手権大会初優勝、近畿選手権初優勝で、インターハイ初出場を果たした。県内外の強豪と切磋琢磨、しのぎを削りながら全国の強豪の仲間入りを果たしていく。

「初制覇の近畿大会2日前、指導中にアキレス腱を断裂しました。病院から抜け出して指揮しましたけど、この時ほど技術より精神面の大切さを実感したことはありません。石垣主将が僕の代わりにチームをしっかり見ていくくれました。ライバルの夙川学院とは両校とも西宮市内にあるので、市内大会から全国大会まで競い合うことに。昭和57（1982）年の鹿児島インターハイでは甲子園が準優勝、夙川が3位になった。

だんだん強くなっていくうちに市立葦合や篠山産業など県内の上位校と対戦するようになり、県大



1996年度卒業
石川 幸子

シャンソン、元日本代表



1979年度卒業
渡邊（久保田）久美

シャンソン、元日本代表



1975年度卒業
大谷 利恵子

ユニチカ、元日本代表

甲子園学院 卒業生の声

私は2年生のインターハイ後に転校してきましたが、甲子園学院の選手のレベルの高さと、怒られることがほとんどない指導法に正直戸惑いました。何が悪いのか、何が自分に足りないのかを自分自身に考えさせてくれたのが霜村先生でした。それが卒業後の自分の成長につながったのは間違いありません。先生の座右の銘「破壊は一瞬、建設は一生」は今、ヘッドコーチとしてチームを見る立場になって心から実感できる言葉になっています。

中学生のころのバスケットは遊びの延長のようなもの。偶然試合を観ていた実業団の監督が霜村先生に、「大きい子がいるよ」と連絡したのがきっかけです。まさか強豪校からお誘いを受けるとは……ただ大きいだけの私に対して、霜村先生はまさに手取り足取りの指導をしてくださいました。それが人生の分岐点となり、実業団でプレーを続け、日本代表にも選ばれました。今でも本当に感謝しています。先生、ありがとうございました。

入学当時は、甲子園学院が市内、県内で上位へと勝ち進み始めたころ。ただ背が高いというだけで「海のものとも山のものとも」判らない私を、熱心なお誘いの言葉でバレーボールからバスケットボールへと引き込まれ、3年間厳しさや優しさの中で育て導いてくださいました。この歳になって先生の優しさを実感するようになり、会いたくなります。年代ごとに集まっているOGも同じ思いでしょう。これからも元気で長生きしてくださいね。



photograph by Shin Oyama

独自のバスケット用語を駆使

「霜村バスケットって、あまり英語のバスケット用語を使わない。最初はその（専門用語）で一生懸命教え

たね。その後に入学してきたのが大山晴美。この子も卒業後はシャンソン化粧品で活躍し、日本リーグ MVP。久保田久美もシャンソン化粧品で MVP を受賞しています。大谷と久保田は日本代表キャプテン、アジアオースターにも選ばれました。他にもユニバーシアード代表主将を務めた西川あゆみや、日本代表には慶山真弓、石川幸子（現山梨クイーンズベリーズ HC）、榊原紀子（トヨタ自動車）たちが選ばれています」

「不撓不屈の精神、負けん気が支えになりました。赴任した頃の甲子園学院は高校野球の「甲子園」と比較せずとも知名度が低かった。見返してやりたいという思いがあった。そのためには、バスケットが強くなければ助けになるはずだと必死でした。インターハイや選抜大会（ウインターカップ）、国体など思い出深いエピソードはたくさんあります。壁を打ち破り、全国大会でも上位に名を連ねる名門校となつてからも悲喜交々、選手たちとは多くのエピソードを共有している。大学に進学して活躍する選手や日本リーグ（Wリーグ）等で活躍する選手、日本代表選手も輩出した。」

バスケットが好き、教えるのが好き

無名だった甲子園学院が全国強豪校の仲間入りを果たした。「バスケットが恋人、人生そのもの」という霜村だが、支えになったのは何だったのだろうか。県主要大会が行われる神戸市立王子体育館のすぐ隣にあったのが市立葺合高校。とあるインターハイ県予選の時、同校体育館のマットで女子選手が仮眠していた。それを見つけた男子部のキャプテンが「どこの生徒や」と注意したところ、「甲子園です。監督からここで寝ていいって言われました」との返事……「それが甲子園学院との最初の出会いか」（オンザコート 笹谷孝男談）

会でも勝てるようになっていきました。そうなる周囲に熱心な指導者、葺合 OB の戸田（昭）さんや八尾（功）さん、久本（捷）さん……これらの方々にすぐお世話になりました。そういう方々と関わり合いながら甲子園は強くなっていきました」

（全国大会の）決勝戦には7回ほど進出しましたけど、だいたい2点差で負けていますからね。昭和54（1979）年の大津インターハイ。この時は千葉の昭和学院を破って決勝進出。相手は宮崎の小林高校でした。前半は22-10とダブルスコアで勝っていた。じりじり追い上げられて最後7秒ぐらい。久保田久美、今 NBA にいる渡邊雄太のお母さんが活躍してくれたけど最後に逆転されてね（42-44）。彼女が枚方市の中学校に通っていた2年生の時、近くの実業団で練習している「大きい子がいる」と聞いて見つけました。ただ、スカウトしようにも学校には寮がなく、一年かけて奥さんを説得し、何とか下宿させることができた。それでインターハイ最初の準優勝。一学年上にいたガードが浅井広美で、サッカーの香川真司のお母さん」

「石垣洋子は筑波大学でインカレ初優勝。 MVP になりました。全国教員大会や国体でも優勝しました。ユニチカで活躍し、後に日本代表ではキャプテンを務めたのが大谷利恵子。実は中学校時代はバレーボールをやっていた、甲子園はバレーが強いからと見学に来ていたんです。ただスカウトされていたわけではなかったし、足もとを見たらバッシュを履いている。『バスケットならすぐに活躍できるよ』ってスカウトしました。元バレーボール選手だけあって（ブロックで）手を上げるのは慣れている。試合に出たらずっと手を上げて指示したらシュートブロックができるし、メキメキ上達しました。サイズがあつて、チームも強くなりだししたね。」

バスケットに関わり続ける幸せ

独自の指導で頭角を表わした霜村だが、関係者によると「先生が変わつたのは、中川文一 HC との出会いが大きい。傍から見ても霜さんがガラッと変わった」とのこと。 「中川さん、そうシャンソン化粧品に選手を送るようになったのは中川さんとの出会いがあつたから。かつて京都にユニチカ宇治というチームがあり、そこで指導していたのが中川さん。話をすると、自分のバスケットと求める形が似ていた。ドリブルではなくパス＆ラン、パスでボールをつなぐバスケット。ああいいなっていう印象が強かったのを覚えています。シャンソン化粧品に移ってから、中川さんが大山晴美をスカウトに来ました。それから長く交流が続いています。中川さんはアトランタ五輪で女子日本代表を率いました（7位入賞）。フリーランスオフエンス、オールラウンドプレーといった基本を作り上げたその功績は大きいと思います。今の女子バスケットは世界トップレベルですよ。男子も含め、日本のバスケットボールの躍進は凄い。世界で戦う選手たちを応援したいですね。」

最後に、私は高齢でも幸せの「幸」年齢。今もバスケットが好きで、教えるのが好きで、バスケットをする人たちが好きなんです。今も同総会を開いてくれる教え子にも感謝の気持ちで一杯。ですが本当は、好きなことを自由にやらせてもらった妻の『内助の功』への感謝を、いくらしりしてもしきれないと思っています」

番外編



中川 文一

元女子日本代表ヘッドコーチ



2002年度卒業

塩森 優 甲子園学院最後の教え子、オンザコート社員

先生独自の言葉で指導を受けた私たちは、大学に進んで専門用語での指導となった当初、意味がわからず「きょとん」とする場面もあり苦労しました（笑）。でも私たちのためにわかりやすく伝えてくれた言葉は今でも私の頭に残っていて、同級生との思い出話にも出てきます。「常に模範生でありなさい」「親孝行しなさい」「バスケットができることに感謝しなさい」「王者の風格を持ちなさい」——本当にたくさんの方を教えてもらいました。

私がユニチカ宇治を指揮していたころからのお付き合いです。甲子園学院が強くなり始め、「もう少しで全国大会……」そんな雰囲気がありました。シャンソン化粧品に移ってから、全国的に有名だった大山（春美）や久保田（久美）らが入団しましたが、チームの礎となる選手たちでした。霜村先生はリクルートがお上手で良い選手が集まっていましたが、個性を見極める指導力があつたからこそ選手たちは成長していったと思います。

Special conversation

STEP BY STEP
×
TRIPLE DOUBLEKENGO
YAKA

STEP BY STEP

代表 屋嘉 謙呉

沖縄県那覇市出身。1984年にプロショップ『ステップバイステップ』（那覇市牧志1-19-16）をオープン。有限会社 step by step 代表。小禄高、那覇商業高を経て、母校・県立那覇高では女子の指導を1997年から2023年まで務めた。インターハイ6回、ウィンターカップ7回出場。

TOSHIHIRO
KAWAKAMI

TRIPLE DOUBLE

代表 河上 年博

山口県山口市出身。2001年、地域のスポーツショップだった『マルヤスポーツ』をバスケットボール専門店『Triple Double』に改装。代表を務めながら、1976年より母校・県立山口高等学校男子の指導を続けている。同校でインターハイ9回、ウィンターカップ11回出場。

沖縄と山口を舞台に、「プロショップ代表（＝経営者）」&「強豪高校コーチ（＝指導者）」という二刀流で活躍する2人が「バスケット」を存分に語り合うトークセッションの第1回、まずは「プロショップ論」からスタート。

「アメリカバスケットシーンへの憧れ」

屋嘉 バスケットボールプロショップの『ステップバイステップ』は来年で40周年。お店は那覇市、ゆいレール「美栄橋駅」のすぐ近くにあり、沖縄のバスケットボール文化を広げたい、深掘りしていこうというのが理念です。沖縄バスケの歴史・文化を伝えながら、形あるものとしてオリジナル商品も作っている、そんなお店ですね。

僕がプロショップをやった理由は、アメリカのバスケットシーン、スタイルが好きだったから。80年代当時、いわゆるスポーツショップには大手メーカーさんの既製品しかなくて、オリジナル商品がなかったんです。だから、何とかアメリカのようにチームごとのキャラクターやオリジナルグッズを提供したかった。顧問の先生方が異動しても独自のユニフォームや特色がずっと残るような歴史を作りたい、先生が代わってもそれはずっと受け継がれるようにしたいと考えていました。

河上 私の方はもともと地域のスポーツショップだったお店をバスケット専門の『トリプルダブル』にしたのが2001年の2月23日。私は長く母校の県立山口高校で指導していますが、店名は高校時代マネージャーをやっていた卒業生の助言で決めました。屋嘉さんがオープンさせた時代と重なるのですが、まだ衛星放送がなかった時代に山口高校の1学年先輩がロサンゼルスにいてレイカーズ絡みの試合ビデオをいつも送って来ていました。その関係でいつの間にかレイカーズファンとなり、お店のロゴはレイカーズカラーに。当然、母校のチームカラーもレイカーズカラーにしました。初めてウィンターカップに出場した時（1989年）、オリジナルのチームウェアを何としても黄色で作りたい、たかっただけですが、その時はまだ専業メーカーさんとのルートがなく、現株式会社オンザコート（笹谷孝男）社長と取引のあった広島県の専門店にお願いして黄色のウェットを作りました。とにかくこだわった。そうしたら何と1回戦の相手が北陸高校。チームカラーは言わずと知れた黄色で、丸かぶりだったのを今でも忘れません。試合は確かインターハイ2位だった北陸に11点差で敗れましたが善戦したと思

います。202cmの出口（実、元日本代表選手）やその時1年生だった納谷（幸二、元日本代表、現岡山商大附高監督）選手がいて、しかも会場がバスケットボールの聖地とも言える代々木第二体育館ということで、指導者としてもまたこの場所で戦いたい、と思いました。また先に出てきた店名のヒントをくれた卒業生はこの時のマネージャーでした。屋嘉 最初に言いましたが、僕がプロショップをやったのはアメリカのバスケットシーンに影響されたから。そんな時、笹谷社長と「こんなこともできるんですか!?」っていう話ができたようになった。その頃はいつも絵を描いてFAXで送りながら、「こんなウェアを作ってほしい」と……場合によってはアメリカの雑誌から写真を切り取り、「こんなユニフォームにしたい」とか、無茶なこともやりました（笑）

その頃日本のユニフォームはネイビーか赤、白という配色が常識でしたが、僕は沖縄のバスケットシーンをアメリカのそれに近づけたかった。だから、当時多かったロイヤルブルー（NCAAの強豪ケンタッキー大やデューク大、メンフィス大のような）のユニフォームや、NBAの名門、ボストン・セルティックスみたいなグリーンをイメージしたり、県立中部工業高校（現県立美栄工科高校）にはPAC10（NCAA Div. Iの超有名カンファレンス）のテイスティングを採り入れたりしました。他にもミシガン大は北中城高校、インディアナ大は北谷高校、メンフィス大は小禄高校、ケンタッキー大は豊見城高校という感じで作ったりしていったんです。お客様がずっと満足させるために既製品でないもの、オリジナルデザインを作ることにこだわってきました。そんなことを続けてきて、来年で40年です。

そのチームの伝統や背景なども加味して、想いを形にしないといけない。

お客様をずっと満足させるために既製品でない、オリジナルデザインを作ることにこだわってきた。

ショップとしての役割は果たしていましたが、特に特徴があるわけではありませんでした。当時も徐々に売上げが落ちてきていた矢先、先代が「もうやめようと思う、お前に任す」と言われた時、迷いはありませんでした。自分が行きたいような店にすればいいんだ、と思い、神戸の笹谷社長の所へMacBookを持って尋ねました。当時はソフトもコピーできて基本データも入れてもらい、1日だけやり方を習いました。元来デザインは好きだったので、こんな便利なもの（パソコンやソフト等）があるのかと感心して、その後はとにかくお客様の要望に応えようと、いろんなチームウェアやチームロゴを提案しました。さまざまなデザインがある中で、言われるままに作業を進めるのではなく、「このチームにはこれを勧めよう」といろいろとアイデアが湧いてきました。そんなことをずっと考え抜いてきて、現在に至るわけです。が、その先駆けが屋嘉さん。

要はバスケットが好きだから仕事が好きにならない、個性的なチームが増えることで若いプレーヤーにも喜んでもらえます。

『Triple Double』は小倉店もあります

が、山口店同様、若いスタッフはみんなMacBookを持ち、お客様の要望を聞いてデザインを提案しています。昔は私一人でした。いまでも最近では若いスタッフそれぞれがデザインできるので、私の出る幕はありません（笑）。ただ、なんでもデザインすればいいではなく、そのチームの伝統や背景なども加味して想いを形にしないといけないし、それで差別化できる。そのためには専門メーカーさんの力を借りなければならぬし、いくら高い理想や素晴らしい発想があっても製品として具現化できないと意味がないわけです。プロショップでは競技の愛やこだわりが欠かせません。今はお店を娘河上直子（山口店店長）が引き継いでくれています。が、そういう想いは若い世代に伝わる

はずだと思っていますよ。

屋嘉 バスケが好きで、アメリカのバスケットシーンが大好きだったので、笹谷さんとは何度も一緒に渡米しました。その時買ったグッズをお店にも飾り、ちよとバスケットの歴史があるような空気感も見えてきたかな（笑）。やっぱりアメリカを見ないことにはやりたいうことができないし、そういう意味ではいいモチベーションになればいい、店舗スタッフにも行ってもらっています。

「次世代へつなげたい想い」

屋嘉 そういえばコロナ禍前、沖縄でリーグの試合（デンソーアイリス vs トヨタ自動車アンテロープス）があって（当時デンソーには沖縄出身の伊集南選手が在籍）僕は会場担当だった。その時、デンソーのマネージャーさんにお世話になりましたが、とても丁寧な気遣いをしてくれる方でした。楽しい時間になりましたが、後で聞いてビックリ。河上さんのお嬢さんだ……。だから教えるという（笑）

河上 彼女には私とは違うネットワークがあるし、女子日本代表のマネージャー時代には現在の代表ヘッドコーチ（恩塚亨）さんと一緒にそれぞれの仕事をこなしていました。娘がデンソーのマネージャーだったこともあり、高田真希選手もオフにプライベートで3〜4回遊びに来てくれて私の自宅に泊まりいろいろ話も聞きました。リッ（高田選手）は選手としても超一流ですが、人間的にも飾らない素晴らしい人です。

屋嘉 河上さんとは同じように、外部指導者として（高校を指導してきて、昔から交流もあつたけど）意外と仕事の話はしなかったですね。でも、メーカーにしてもお店にしても、先輩たちが試行錯誤しながら、より魅力的な商品を世に出そうと努力してきた歴史がある。私たちも受け継いできたから、次の世代にもつなげていきたいですね。

河上 それにはバスケットへの情熱が大事だと思います。やっぱりバスケットを盛り上げた、本場にそう願っている人の言葉には、自然と想いが溢れ出ますからね。（プロショップのオーナーが）評論家みたいな人では結局長続きしません。（続）

「バスケットで理想を具現化する」

河上 引き継ぐ前の店は地域スポーツ

バスケットボールにまつわるあれこれを
幅広くお届けします。ハッスルボード編集部
Hustle Board Editing Divisionall about basketball
TOPIX

Wリーグ

コート

インカレ

01 東藤なな子選手が
やってきた
NANAKO CAME TO KOBE

パリ五輪を目指す女子日本代表の主軸、東藤なな子選手(トヨタ紡織サンシャインラビッツ)が11月、神戸・ポートアイランドの(株)アシックス本社と(株)オンザコート本社を訪れました。スピードあふれるハードなプレーの足元を支えているのは、アシックスの女性プレーヤーサポートモデルである『GELFAIRY(ゲルフェアリー) 8』。「かかとか細い自分にはフィット感が抜群で、軽さとデザインが気に入っています」と愛用しているそうです。この日は同本社に隣接する企業博物館のアシックススポーツミュージアムで、スポーツ全般にかかわる商品開発の歴史や研究開発の奥深さにも触れました。

続いて訪問したオンザコート本社では新商品の視察のほかバスケ談義にも花が咲き、代表でも評価の高い守備の話に。「ディフェンスは99.5%メンタル。あとは守備の戦術を理解してアジャストするだけです」と飾らない笑顔で話しつつ、経験の必要性にも触れました。「意味ある経験を人より多く積むためには全力でやらないとダメなので、そのためにもメンタルは大事」と語り、周囲をうならせていました。

神戸来訪の最後は、正面入口横に自身の等身大広告パネル(アシックス)が設置されているBALLER'S神戸店(神戸市中央区御幸通6)へ。バスケットボールグッズがあふれ、試合映像が流れる店内を見て回った後、木製のレジカウンターと屋外広告看板にハートをかたどった愛らしいサインを入れて記念撮影。世界を相手に飛躍を続ける「nanako」の名を記し、神戸の街を後にしました。

▼東藤なな子選手
(トヨタ紡織サンシャインラビッツ)02 ぶらり街コート
BURARI
MACHICOURT

代々木公園▶

ぶらり、というには巨大すぎるメガシティー「TOKYO」ですが、今回、都心の屋外でバスケットボールを楽しめる、東京では王道ともいえる2カ所を散策してみました。

まずは日本バスケの聖地、国立代々木競技場第二体育館に隣接する代々木公園(東京都渋谷区)。2023年春にリニューアルされたコートは色鮮やかにペインティングされていてテンションも上がります。コートサイドのベンチもきれいに整備され、思いっきりプレーできますよ。無料で利用できる外コートとしては(もしかすると)日本一有名かもしれません! そのため、休みの日には特に多くのバスケットボーラーたちが集まります。混雑はするかもしれませんが、上手い人の技術を見て勉強したり、出会った人たちとゲームをしたりして楽しむことができるのはとても魅力的だと思います。天気の良い日にはぜひ、ボールを持って出かけてみては。



ボールやウェア、シューズなどのレンタルもあるので手ぶらで訪れてもバスケができるのは魅力ですね。ちなみに、平日はお昼、土日祝日は開店後すぐの時間帯が比較的空いているとの情報もゲット。無料の公園コートなどでは人が多すぎて、自主練がなかなかできないこともありますが、こちらは有料だけにしっかり管理されていますから、みっちり練習したい方にはうれしい。また、予約制ですが毎週日曜日にはピックアップゲームもあるそうで、新しい仲間を見つけられるかも!?



続いてはHOOP/CITY(フープシティ)新宿アルタ(東京都新宿区)です。有料ですが新宿駅東口すぐの一等地にあるこの屋上コートは、体育館のコートとも公園などの外コートとも違う感触の床材が使われています。「大都会の景色を楽しみながらバスケするのが魅力」とは、スタッフさんのおすすめポイント。

続いてはHOOP/CITY(フープシティ)新宿アルタ(東京都新宿区)です。有料ですが新宿駅東口すぐの一等地にあるこの屋上コートは、体育館のコートとも公園などの外コートとも違う感触の床材が使われています。「大都会の景色を楽しみながらバスケするのが魅力」とは、スタッフさんのおすすめポイント。

散策人

原 沙弥 SAYA HARA

小3からバスケを始め、現在は3チームに所属して週1、2回のHOOP生活。観戦も好きで千葉ジェッツ推しのオンザコート女子社員。

03 はじめてのインカレ
OUR FIRST ALL JAPAN
INTERCOLLEGIATE

大学バスケ日本一を決める「インカレ2023」は、全国各地の9ブロックを勝ち抜いた男女各40チームが参加し、12月2日に開幕! 女子は10日、男子は17日までグループリーグ戦とトーナメントで頂点を争う、熱い戦いが繰り広げられました。ここではエリートチームがしのぎを削る最高の舞台に初めて登場した、女子の2チームを紹介します!

まずは「最初で最後の」インカレで見事にグループリーグを突破、トーナメントまで駒を進めた「北洋大」。2020年の創部から瞬く間にジャンプアップ、北海道2位で出場を決めたがなぜ最初で最後か、それは今年度いっぱいでの廃部が決まっているからなんです。

メンバーは#11桜庭莉李亜(3年)、#43會田芽夢(3年)、#56梶原理奈(4年)、#88高橋こはく(3年)、#97曾根有紗(4年)、#98小久保瑞希(3年)の6選手のみ。東北学院大、高知大を破って臨んだトーナメント初戦、関東の強豪 山梨学院大を相手に79-107で散った12

月6日の試合がラストゲームに。少ない人数で体力的には圧倒的に不利な状況にもかかわらず、最後までコート上で頑張りが続けた6人。インカレという夢舞台に刹那のきらめきを残してくれました。

次に紹介するのは、正直、初インカレと聞いて驚くほど関西では名の知れた「園田学園女子大」です。Wリーグの日本航空などで活躍した畑岸邦枝さんが監督を務めています。チームはグループリーグ初戦で中国地区1位、40回目の出場という広島大学と対戦。立ち上がりは動きが硬く前半12点のビハインドを背負いましたが、ゲームハイの17点、4スティールと躍動したPG#1井上ひかる選手、17リバウンドと奮闘したC#75松岡歩菜主将らの活躍で逆転、75-68と歴史的1勝を掴みました。2戦目の福岡大学には59-74と敗れましたが、畑岸監督は「劣勢を跳ね返したり応援の力を感じられたり、得たものは大きかった。想いを繋いで来年もこの舞台で勝負して、8強を目指したい」と、選手の気持ちを代弁しました。

column
オンザコート社員
コラム
vol.2チーム
オリジナルウェア作成 虎の巻

バスケットボール専門メーカーであるオンザコートが取り扱う商品は、バスケに関わるものすべて、と言えるほどバリエーションが豊富です。でもチームウェア、と聞いて最初に思い浮かぶのはユニフォーム(ゲームシャツ)でしょうか。チームカラーやデザインはもちろん、予算や納期に加えて公式戦で着用できるかの判断まで、クリアすべき壁はたくさんあります。選手はもちろん指導者から保護者まで納得する商品をお届けするために、現在使用されているウェアの詳細やチームの特性、個性を日頃のコミュニケーションから得ています。

流行のデザインを知っておくことも重要ですが、チーム同士(特に同地区や同カテゴリー)でデザインやカラーが被らないよう各チーム(他社製でも!)が使用しているデザインも頭に入れながら、極力別の

デザインでご提案できるように注意しています。

また、試合以外で着用するものをチームでそろえると、より一体感が生まれますよね。今の時期だと、アウターはもちろんネックウォーマーや手甲など冬物を揃えるチームもあります。保護者用の応援Tシャツや、珍しいところではサコッシュバッグ、トートバッグなんかでもチーム愛や絆を感じることができるんです。

オンザコートの社員は日頃の学校訪問などはもちろん、いろんな大会で売店にいたり、時には選手、レフリーとして体育館に現れたり(笑)。チームの力に少しでもなりたい! と常に考えていますので、興味があれば是非お声掛けください。各店のスタッフもバスケ愛があふれるお店で、皆様のお越しをお待ちしています!

バスケットボールに必要な「チームワーク」。
どうすればその結束力をウェアやグッズで
表現できるのか、工夫の裏側を紹介します!お気軽に
ご相談をAYAMI KOMATSU
小松 綾実

兵庫県出身。神戸親和女子大を卒業後2012年オンザコート入社。内勤、店舗勤務を経て神戸店外商部。日本公認A級審判員として活動中。



アンケートに答えて 豪華プレゼントを もらおう!!

読者
プレゼント

①HOOPREXアイテム ②NBAパーカー ③リップ
プルファクター(バスケ専用プロテイン)のいずれか
をプレゼントします。当選された場合、誌面掲載にご
協力いただく場合があります。予めご了承ください。

1 HOOPREX
ソックス・シューズバッグ・
トートバッグのいずれか

計10名様



ソックスはFREE(25〜28cm)サイズ、
シューズケースは2色、サコッシュ付きト
ートバッグはブラックとなります。ソックス、
シューズケースのカラーは選べません。

2 ALL NBA Team
Hoodie (Lサイズ)

1名様



NBA全チームのワッペンが張り巡ら
されたパーカー。アメリカンサイズな
ので日本のXLサイズに相当します。
180cmくらいでジャストサイズです。

3 Ripple Factor
リップルファクター (750g)

和歌山のバスケットボールプロショッ
プが開発したプロテインです。激しい運
動の後でも飲みやすいミックスベリー味
(約30日分)。

1名様



締切 2024年1月31日(水) 12時00分

※回答はお1人1回までとさせていただきます。
※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。
※発送は2024年2月上旬を予定しています。
※本アンケートは予告なく変更・中止させていただく場合がございます。

スマートフォン、PC、タブレットから応募

<https://x.gd/HEBvF>

にアクセスしてアンケートに
お答えください。



※一部の端末・機種でご利用いただけない
場合があります。予めご了承ください。

「MVPは大山春美選手に決まりました」
「当然ですね、これは。チーム全体をよく引き締
めていましたし……」。第16回女子日本リーグの
「シャノン化粧品対共同石油(現ENEOS)」
のテレビ中継はそう伝えていた——この中継を
観ていたわけではなく、当時は記者席にいた。試
合は優勝決定戦。シャノンが得点差で20点の
アドバンテージがあったものの白熱した大接戦
だった。
残り12秒、43:40と共石がリードするもファウ
ルを犯して大山選手がフリースロー。これを2本
とも決めて1点差。共石のスローインに合わせ
てシャノンが激しくディフェンスして10秒オ
ーバertime(当時は10秒)を誘う。
残り1秒、サイドラインから大山選手がスロ
ーインしたボールを積田洋子選手が受けて大逆転
シュート! シャノンがリーグ初制覇を成し
遂げた瞬間だ。
記者席からの光景は、「コーナー3のブザー

ビーター」と記憶していたが、映像に3ポイント
ラインはなく、ブザービーター!という絶叫も
なし。だが、シャノンベンチからは選手がなだ
れ込み、歓喜の輪が広がっていく。その記憶に間
違いはなかった。「バスケットでこんなシー
ンは珍しいですね」と、アナウンサーが印象深く感
動的な場面を伝えていた。
今回、甲子園学院・霜村武彦先生に関する企画
をお届けした。ぜひ大山選手に触れておきたいと
思い検索した結果、ユーチューブにアップされて
いたこのテレビ中継映像にたどり着いた。
甲子園学院時代から頭角を現し、日本リーグで
MVPを受賞するなど華々しい活躍を続けた大
山選手。引退後は審判員として大いに活躍し、今
でこそ珍しくない女性審判員の先駆けとなった。
日本バスケットボール協会公認審判員としてA
A級まで昇格している。
「当時の審判員長だったと思いますが、大山が
審判する姿を見て、『審判としても』感性がすご
い」と言っていたのを覚えています」(元女子日



1983年日本リーグの冊子の表紙を飾った
大山春美さん

本代表ヘッドコーチ、中川文一氏」と、高い評価を
受けていたのだ。
数年前、彼女が審判員を引退するという試合に
めぐり合い、試合後短くインタビューを受けて
いただいた。謙虚に自身の経歴をふり返り、後輩
たちの励みになっていれば嬉しいと話してくだ
さった。
その後、女性初の国際審判員(FIBAレフェ
リー)になった須黒祥子氏をはじめ多くの後輩た
ちが活躍するようになった。その道を拓いた先達
のひとり、間違いなく大山春美さんだった。



Vol.2

皆人公平、
寄港中

皆人公平

スポーツ好きの編集者・ライター。つわけバスケットボールはプレー歴があり、好きが高じて、
仕事として取り組むようになった。スポーツに限らず、さまざまなジャンルの書籍や雑誌、パン
フレットなどの制作・原稿執筆も経験。近頃は関西バスケットに興味をそそられている。



前回発行ハッスルボードvol001号のプレ
ゼント「モルテン社製 ワールドカップ2023
決勝戦専用公式試合球」は、千葉県在住の
親子読者に当選しました! 12月の日曜日、
Baller's船橋店で贈呈式が開かれ、シリアルナ
ンバー入りのボールをスタッフからお渡しでき
ました。果たして練習で使えるのか?ともあれ
「世界一の感触」を、楽しんでくださいな!

「リップルファクター」とは!? 開発者のマイスターに聞く

瞬発力も持久力も求められるバスケットボール選
手を支えたい。そんな思いを込めてプロショップ
(バスケットボール専門店)が独自に開発した、お
そらく本邦初の「バスケット選手専用」プロテインがある。追
求したのが「効率的なたんぱく質の吸収」「疲労回復」「栄
養補給」だが、一般的な商品とは何が違う? 開発したプ
ロテインマイスターに聞いた。



開発者の仲尾健一さん

和歌山県和歌山市で1977年
に創業した専門店「ヤングス
スポーツメイト」の代表取締役を
務める仲尾健一さんは、趣味で
ある釣りを楽しんでいた時魚種
によって疑似餌は変わる。人間
なら競技によって効果的な食
べ物も変わるはず!と思い立つた
そう。時は2020年のコロナ禍
真只中。栄養の勉強に励んで

資格を取得し、21年9月、宮城県のメーカーと直接交
渉して栄養配合の研究を重ね、商品化にこぎつけた。
疲労回復に欠かせないクエン酸、筋肉の強い力を維
持するクレアチンなどの配合割合にこだわってパワーと
スタミナの両立を目指し、練習後の習慣化が進むように
さわやかなミックスベリー味とするなど工夫を重ねたと
いう。「特に中高生の試合で、最後の第4クォーターで力
を使い果たしている子が多いのが気になっていた。最後
の勝負所で底力を出すためには、トレーニングと同じく
正しい栄養が必要なんです」と話す仲尾さん。地元
和歌山の競技力向上を目指して商品化した。今では
全国から注文が届くようになったそう。「練習と一緒に、
栄養(プロテイン)補給も習慣化しなければ意味があり
ません。トレーニングとともに飲み続けて、その効果が波
紋(リップル)のように広がってほしい!」と、さらなる
普及とプレーヤーのレベルアップを思い描いている。



効率的なタンパク質の吸収
疲労回復
栄養補給

バスケットボール選手の
ために作られたプロテイン

Ripple Factor

ミックスベリー味
750g(約30日分) 税込 3,996円

商品のお問合せは▶(有)ヤングスポーツメイト ☎073-436-6940まで